第2期境港市総合戦略改訂(案) 対照表

	总冷川崧山牧哈以引(余 <i>)</i> 刘恕衣 T	T
ページ	改訂前	改訂後
6	Ⅲ. 取り組みの基本的方向と基本目標	Ⅲ.取り組みの基本的方向と基本目標
	基本目標①3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり	基本目標①3つの港と水産・観光資源を生かしたま
	本市の有する重要港湾『境港』、特定第三種漁港『境漁港』、国際空港『米子鬼太郎空港』	本市の有する重要港湾『境港』、特定第三種漁港『
	という重要な社会基盤である 3 つの「港」、日本有数の水揚量を誇る水産資源、水木しげる	という重要な社会基盤である 3 つの「港」、日本有数
	ロードをはじめとした観光資源を生かしたまちづくりを進め、本市の魅力を高めることによ	ロードをはじめとした観光資源を生かしたまちづく
	り、『ひと』、『もの』の交流を一層促進し、観光の振興と産業の活性化による『しごと』の創出	り、『ひと』、『もの』の交流を一層促進し、観光の振興
	を図り、雇用の拡大、定住促進を目指します。	を図り、雇用の拡大、定住促進を目指します。
		また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ス
		支えするための施策について、時機を逃すことなく
11	IV. 具体的施策	Ⅳ. 具体的施策
	基本目標①3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり	基本目標①3つの港と水産・観光資源を生かしたま
	(2)観光の振興	(2)観光の振興
	① 観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進	① 観光地の魅力度向上による滞在型観光の推
	本市は、全国に知名度を誇る「水木しげるロード」、水揚げ日本一のカニ、夏のクロマグロ	本市は、全国に知名度を誇る「水木しげるロード」
	などの水産資源を有し、「さかなと鬼太郎のまち境港市」を標榜する年間 200 万人以上の	などの水産資源を有し、「さかなと鬼太郎のまち境活
	観光客が訪れる中国地方有数の観光地です。	観光客が訪れる中国地方有数の観光地です。
	水木しげるロードの大規模リニューアルが実施され、官民連携による街並み整備が進み、	水木しげるロードの大規模リニューアルが実施さ
	今後も、本市の持つ「鬼太郎」、「水木しげる作品」というオンリーワンの観光資源のさらなる	今後も、本市の持つ「鬼太郎」、「水木しげる作品」と
	魅力度向上を図るとともに、水産資源を生かした観光の推進や二次交通の充実、新たな観	魅力度向上を図るとともに、水産資源を生かした観
	光資源の掘り起しなど観光地としての魅力度向上を図ります。	光資源の掘り起しなど観光地としての魅力度向上を
	また、民間事業者を主体とした夜間の賑わい創出や滞在時間延長の取組を実施すること	また、民間事業者を主体とした夜間の賑わい創出
	で、滞在型観光を推進し、さらなる観光誘客を目指します。	で、滞在型観光を推進し、さらなる観光誘客を目指
		水木しげる先生が歩んだ 100 年を継承し、次の
		造拠点として水木しげる記念館の再整備を推進しま
14	(3)社会基盤の整備	(3)社会基盤の整備
	① 境漁港の高度衛生管理型市場の整備(県実施事業)	① 境漁港の高度衛生管理型市場の整備(県実
	平成 26 年 9 月に「境港地区高度衛生管理基本計画」が策定され、災害に強く、消費者の	平成 26 年 9 月に「境港地区高度衛生管理基本語
	食の安全・安心のニーズに応えることができる高度な衛生管理体制を兼ね備えた、日本一	食の安全・安心のニーズに応えることができる高度
	の魅力あふれる漁港・市場を目指し整備が行われてきました。	の魅力あふれる漁港・市場を目指し整備が行われて
	令和元年 6 月には陸送上屋と 1 号上屋の供用が開始され、今後も、2 号上屋の新築など	令和元年6月には陸送上屋と1号上屋、 <mark>令和4年</mark>
	の整備促進を図るとともに、市場の積極的な PR を行っていきます。	2号上屋の調理室や展示室などを活用し、魚食普及
		積極的な PR を行っていきます。

かしたまちづくり

三種漁港『境漁港』、国際空港『米子鬼太郎空港』 、日本有数の水揚量を誇る水産資源、水木しげる まちづくりを進め、本市の魅力を高めることによ 現光の振興と産業の活性化による『しごと』の創出

に伴い、大きな影響を受けている地域経済を下 ことなく講じます。

かしたまちづくり

型観光の推進

るロード」、水揚げ日本一のカニ、夏のクロマグロ のまち境港市」を標榜する年間 200 万人以上の

が実施され、官民連携による街並み整備が進み、 る作品」というオンリーワンの観光資源のさらなる **とかした観光の推進や二次交通の充実、新たな観** 力度向上を図ります。

長わい創出や滞在時間延長の取組を実施すること 客を目指します。

承し、次の 100 年へ想いをつなげる文化観光創 を推進します。

整備(県実施事業)

管理基本計画」が策定され、災害に強く、消費者の できる高度な衛生管理体制を兼ね備えた、日本一 が行われてきました。

、令和4年8月には2号上屋の供用が開始され、 、魚食普及、食育、観光連携などを推進し、市場の

ページ	改訂前	改訂後
16	(4)移住・定住の促進	(4)移住・定住の促進
	① 移住・定住の促進・情報発信の充実	① 移住・定住の促進・情報発信の充実
	本市の社会動態(転入・転出)は社会減(転出超過)の状況が続いており、特に進学、就職	本市の社会動態(転入・転出)は社会減(転出超過)の状況が続いており、特に進学、就職
	を契機とした10~20代の若者の都市部への流出が顕著となっています。	を契機とした10~20代の若者の都市部への流出が顕著となっています。
	社会減の抑制のため、タ日ヶ丘地区における定期借地権制度の活用や移住に向けた情	社会減の抑制のため、夕日ヶ丘地区における定期借地権制度の活用や移住に向けた情
	報発信、国・県の補助機関の誘致や自衛隊美保基地の輸送機能強化への働きかけなどを実	報発信、国・県の補助機関の誘致や自衛隊美保基地の輸送機能強化への働きかけなどを実
	施し、都市部などから新たな「ひと」を呼び込む移住施策を推進していきます。	施し、都市部などから新たな「ひと」を呼び込む移住施策を推進していきます。
	また、産・官・学が連携し、インターンシップや就職情報サイトの運営、就職フェア開催によ	また、産・官・学が連携し、インターンシップや就職情報サイトの運営、就職フェア開催によ
	る地元就職支援など、若者の定住促進施策にも取り組んでいきます。	る地元就職支援など、若者の定住促進施策にも取り組んでいきます。
	さらに、地元の子どもたちの将来の定住・Uターンを目指し、子どもを対象とした郷土愛	さらに、地元の子どもたちの将来の定住・Uターンを目指し、子どもを対象とした郷土愛
	づくりへの取組も推進していきます。	づくりへの取組も推進するとともに、令和4年7月に開館した境港市民交流センター(みな
	加えて、境港市への勤務・居住・観光・ふるさと納税等を通じて境港市のファンになった	とテラス)を拠点として、地域を担う人材の育成に取り組んでいきます。
	方を「関係人口」として、引き続き、境港市に関わりを持ってもらい、将来的に移住へとつな	加えて、境港市への勤務・居住・観光・ふるさと納税等を通じて境港市のファンになった
	げていく取組も推進していきます。	方を「関係人口」として、引き続き、境港市に関わりを持ってもらい、将来的に移住へとつな
		げていく取組も推進していきます。